

授業科目名	疾患別理学療法Ⅱ（小児①）	授業形態	講義	配当学期	2年（前期）
担当教員名	小田 勇一	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕</p> <p>小児疾患のなかで、胎生期から新生児期に起因する疾患は理学療法の主疾患である。発達障害がこれら疾患を人間発達学と関連させ理解する。小児①では中枢神経系に起因する病態の原因、発達、症状から検査、理学療法までを学ぶ。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>脳性麻痺を理解する 脳性麻痺の症状を生理学的に理解する</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	小児理学療法とは				
第 2 回	人間発達（運動発達）：正常発達と小児疾患の発達の比較				
第 3 回	人間発達（上肢・反射と姿勢反応）： ”				
第 4 回	人間発達（知的・認知機能）				
第 5 回	発達検査と重症度検査				
第 6 回	脳性麻痺の概略：定義、分類と症状、特徴				
第 7 回	脳性麻痺の概略：基本的評価と介入				
第 8 回	痙直型脳性麻痺各論 両麻痺①各姿勢の特徴と成因				
第 9 回	両麻痺②評価と理学療法				
第 10 回	脳性麻痺の年齢、学齢に対するリハビリテーション				
第 11 回	四肢麻痺①各姿勢の特徴と成因				
第 12 回	四肢麻痺②評価と理学療法				
第 13 回	片麻痺①各姿勢の特徴と成因				
第 14 回	片麻痺②成人脳血管障害との相違点の理解				
第 15 回	片麻痺③評価と理学療法				
評価方法	期末試験にて評価を行う。（100%）				
教科書 参考図書	<p>〔教科書〕 イラストでわかる小児理学療法 医歯薬出版 イラストでわかる人間発達学 医歯薬出版（1年次 教科書）</p>				
履修上の 留意点	障害像のイメージが理解しにくい疾患である。講義に集中してください。				
メッセージ	特になし				